

自閉症 e サービス@奈良

2018 年度 研修案内

～ 自閉症支援を生活のすみずみに ～

「自閉症スペクトラム」のことを理解し、支援者の育成や、より良い支援を見つけることに役立てばという思いのもと、「自閉症 e サービス@奈良」は設立 3 年目を迎えました。

「石の上にも 3 年」。私たちが暮らす社会や福祉はどのように変化したでしょうか？自閉症の方々を取り巻く環境は良くなっているのでしょうか？社会が劇的に変化することが少ないことは歴史が物語っています。それ故、私たちは一人の支援者として思考・研鑽し、それを周りの人達と共有する必要があります。

私たちが暮らす社会は、「他人に迷惑をかけてはいけない」と教わってきた文化・教育で成り立っています。しかし、その価値観を誤って認識したならば、物事の本質を歪めることにもなりかねません。自閉症などの障害のある当事者もまた、必要な支援を受けながら暮らす自律した人であり、「お互いさま」が根付く社会でなければ、生きづらくなる人は更に増えていくことでしょう。

障害のある当事者には、自分や他者を信頼する力があること、どんなことが自分の利益であるかを知る力があること、必要な情報があれば、適切な選択を行い、自己決定、自己主張を行う力があること。この確信をなくして、人間がもつ本来の強さに目を向けるという「ストレンクス視点」や、社会環境や障害などにより本来の力を奪われてしまった人々が、その力を再びもたらそうとする「エンパワメント」とは結びつきません。お互いを高められるよう切磋琢磨し、共に成長することにより、誰にとっても豊かな暮らしが保障される社会が実現することを願っています。

自閉症 e サービス@奈良は、支援の現場におられる方を対象に研修を開催します。

- 自閉症スペクトラムの方々を理解するための入門講座として、どなたでも基礎的な学習をしていただけます。
- いままで自閉症のことを学んだことのある方のための、より実践的な継続学習の場です。
- 今後、自閉症の支援者としてエキスパートを目指す方にとっても、ネットワークを持っていただける場です。

今年度より福井も加わり、ネットワークがドンドンと広がっています。今後も今ある場所のみならず、支援者の学びの場が大きく広がり、「問題行動」と言われるものが決して彼らの側の問題ではなく、私たちの側の問題として省みる謙虚な姿勢を持った支援者の育成につながれば…と考えます。



2018 年 3 月
自閉症 e サービス@奈良
実行委員長 喜多 学志

